

『学校だより』令和3年度7月号  
Escuela Japonesa de Panamá  
パナマ日本人学校



在籍数：小学部7名，中学部2名 合計9名 TEL: 223-7782 269-4726  
E-mail:japonesa@panama.lolipop.jp http://panama.lolipop.jp/

### 学校教育目標とテーマ

豊かで調和のとれた人間性を持ち 国際感覚を身につけた 心身ともに健康な児童生徒の育成  
テーマ「歴史をたどり 仲間とともに 輝く未来へ」(創立50周年に向けて)

パナマ日本人学校 校長 小坂 誠二

とうとう1学期終業式となりました。パナマの感染者はやや増加傾向が見られましたが、デルタ株など新たな変異株が流行らずにいるようです。しかし、まだまだ予断を許さない状況が続いています。

一方日本では、賛否両論ある中、東京オリンピック・パラリンピックが開始しました。選手の皆さんには、4年に1度の特別のスポーツイベントとして、我々国民ばかりでなく、世界中の人々、特に将来を担う子どもたちに夢や希望を与えて欲しいと思っています。

ここでオリンピックの3つのコンセプトを確認しますと、日本人学校の教育方針に通じることに気がつきます。(コンセプトは東京都オリパラ準備局HPより)

「すべての人が自己ベストを目指し(全員が自己ベスト)」

「一人ひとりが互いを認め合い(多様性と調和)」 「そして、未来につなげよう(未来への継承)」

全員が「自己ベスト」は、少人数の子どもたちのなかで、友だちとの比較はもちろん大切ですが、一人ひとりの能力を精一杯伸ばせるようにしていきたいと考えています。かつて教育界では評価は「絶対評価」が主でした。学級の中で何番目かという考えです。しかし、20年ほど前から「相対評価」という考え方に変わっています。学習の到達目標にいかにか近づいたかを評価します。今通知表は、この考え方に基づいて記入されています。

「多様性と調和」は、まさに海外にある学校として、このパナマの子どもたちや人々と関わり、他者を理解し、共生社会を築くようにしていくということでしょう。

最後に「未来への継承」は、日本が世界に積極的に変革を促し、レガシーとして未来へ継承するように、日本人学校での生活が子どもたちの意識を変え、日本に帰っても海外に目を向け、留学などを希望する学生になって、同年代の世界の友人と議論して欲しいと願っています。そして、将来は是非海外との関わりを持つ仕事につこうとしてもらえれば嬉しい限りです。

それでは、夏休み明け、また元気にお目にかかれることを楽しみにしています。

## 学校再開まで中々たどり着けず。しかし、もう一歩です。

再三保健省や教育省とやりとりをしている中ですが、正式学校再開の認可は出ませんでした。日本人学校は7月22日が終業式なので、ここまでに何とかという思いが強くなりました。しかし、パナマの学校は、通常7~8月が授業月なので、全く慌てていないのだろうと想像します。感染状況が悪化しない限りは、2学期開始(8月24日)までには認可が下りると思われますので、対面授業開始の喜びは、それまでお預けとなりました。

さて、先日スピーチ集会をオンラインで行い、子どもたちが自分の考えをしっかりと主張できたことは素晴らしいことでした。質問もでき、聞く態度もよくできていました。ここで、発表した題名を紹介します。



- ・小1 「わたしの好きなもの」 (なわとび)
- ・小1 「ぼくの好きなもの」 (おりがみ)
- ・小2 「わたしのパナマ大発見」 (トンボやパイナップルなど)
- ・小3 「音の不思議」 (なぜ音は聞こえるのでしょうか)
- ・小3 「楽しかった船づくり」 (図工の時間の船づくりの説明)
- ・小4 「魚つり」 (はぜつりはおもしろい)
- ・小6 「最後の小学校生活」 (パナマ生活言葉は通じないが心は通じる)
- ・中1 「ウィルスによる危機」 (コロナウィルス感染症から)
- ・中2 「皆さんへの提案」 (学校生活改善, 相談室設置への取り組み)